

令和6年度 第2回 埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会 議事録

期 日 令和6年8月9日（金）
場 所 蕨市役所委員会室

出席委員	蕨市教育委員会	松本 隆男	教育長
	蕨市教育委員会	萩原 敏行	教育長職務代理者
	戸田市教育委員会	戸ヶ崎 勤	教育長
	戸田市教育委員会	仙波 憲一	教育長職務代理者

事務局	蕨市教育委員会	小山 晃弘	教育部次長学校教育課長
	蕨市教育委員会	峠舘 春介	学校教育課指導係長
	蕨市教育委員会	及川 優介	学校教育課指導主事
	蕨市教育委員会	五十嵐詩郎	教育センター主任指導員
	戸田市教育委員会	川和田 亨	教育部長
	戸田市教育委員会	片境 俊貴	次長兼教育政策室長
	戸田市教育委員会	杉森 雅之	教育政策室指導担当課長
	戸田市教育委員会	伊藤 和三	教育センター所長
	戸田市教育委員会	若村 健一	教育政策室主幹兼指導主事

傍 聴 人 8名

1 開 会	司 会	・ 開会の言葉
2 事務局からの連絡	司 会	・ 傍聴人について確認する。本日の傍聴人は8名である。傍聴人の方に申し上げる。事務局職員からも説明しているが、静粛に傍聴されるようお願いする。 それでは、採択協議会長、松本 隆男 教育長から挨拶をいただく。
3 挨 拶	会 長	・ 挨拶
	司 会	・ 採択協議会規約第9条第2項により、ここからは松本会長に議長をお願いする。
	議 長	・ はじめに2点確認する。 1点目に、本日の議事録の署名委員については、第1回採択協議会で承認のとおり、戸ヶ崎委員と仙波委員をお願いするとともに、議事録の記録について、発言者名は、議長または委員という形でよろしいか。
	委 員	・ 異議なし。
4 議 事	議 長	・ はじめに「(1) 報告 教科書展示会場の閲覧状況について」事務局からお願いする。
(1) 報告（展示会場の閲覧状況について）	事務局	・ 令和6年度教科用図書展示会場の閲覧状況について報告する。教科書展示会については、戸田市立教育センターで、6月14日から6月27日までの14日間開催し、保護者・一般37名、学校関係者64名、計101名が閲覧した。また、閲覧の際にアンケートに協力をいただき、「どの教科もデジタルコンテンツが充実している」「近年の課題でもあるSDGsや環境問題を意識している者が多かった」「教科書発行者ごとにきれいに並べてあり、じっくり検討することができた」等の声をいただいた。アンケートをまとめたものを回覧するのでご覧いただきたい。
	議 長	・ 何か質問はあるか。
	委 員	(質問なし)

(2) 保護者による
研究結果の聴
取

議 長

- ・ 続いて、「(2) 保護者による研究結果の聴取」について採択協議会規約第16条により、研究結果の報告を事務局から願います。

事務局

- ・ 保護者代表については、蕨市、戸田市の各PTA連合会に依頼し、代表の方を推薦いただいた。教科用図書全般にわたって研究いただいたので、その結果について報告する。
各種目について、蕨市、戸田市の順で報告する。

はじめに国語では、

- ・ 発行者によっては、教材一覧表があり、学習内容を把握しやすくなっている。
- ・ 他教科との関連についても触れられているものもあり、国語の学習を他教科にも生かすことができると感じた。

次に書写では、

- ・ 基本的な点画の書き方が掲載されており、小学校での学習を振り返りながら活動することができ、よかった。
- ・ 伝統的な習字などについて、日本の歴史と結び付けて紹介しているのがよかった。

次に社会の地理的分野では、

- ・ 発行者によっては、国際法を用いて、国土の変遷を説明しており、歴史の流れがつかみやすいと思った。
- ・ 日本を中心に世界へ広がる地理への導きがよかった。

次に社会の歴史的分野では、

- ・ 情報量や文字の大きさに配慮してあるものがあり、歴史が苦手な子も授業に取り組むことができるように工夫されていた。
- ・ 写真と絵の組み合わせがバランスよく、興味を引く組み合わせになっていたよかった。

次に社会の公民的分野では、

- ・ イラストやグラフが効果的に使われ、見やすいものがあった。

- ・ L G B TやS D G s、A I など、近年のトレンドを捉えていてよかった。

次に地図では、

- ・ 気候変動や環境問題を取り上げていて、今の地球問題を定義付けていてよかった。
- ・ 世界と日本の統計から読み取れる未来を考えさせていてよかった。

次に数学では、

- ・ 雑学的な読み物教材があり、数学に興味を持たせることができる。
- ・ カードゲームを使って、ただ単に計算させるだけでなく、「図形」を作らせてイメージを膨らませているところがよかった。

次に理科では、

- ・ 理科室の決まりに触れ、安全に実験などの学習を進められるようにしているところがよかった。
- ・ 自然災害や地震のメカニズムは日本にとって身近な問題なので、これを考えさせる内容がとてもよかった。

次に音楽の一般では、

- ・ 最近の曲が入り、生徒が親しみを感じる教科書になっていると感じた。
- ・ 日本の伝統的な音楽とコンピュータ音楽を比較して考えさせているところがよかった。

次に音楽の器楽合奏では、

- ・ 普段見られない楽器等について写真資料を用いることで視覚的に学べるようになっていてよかった。
- ・ 楽器の図鑑が7つに分類されていて、オーケストラを想像できる内容がとてもよかった。

次に美術では、

- ・ デザインの学習でピクトグラムが取り上げられ、生徒が興味関心を持って取り組むことができると思った。
- ・ 美術をとおして、絵画や彫刻、水墨画など美術館や展覧会に行きたくなるようなつくりが素晴らしかった。

次に保健体育では、

- ・トピックスが多いものがあり、生徒の意欲や知識につながるといった。また、巻末スキルブックで、これまでの学習を確認できるところがよかった。
- ・テクノロジーの進化と保健体育を関連付けて、健康・スポーツ・安全を学ばせているところがよかった。

次に技術・家庭の技術分野では、

- ・少しの工夫で、よりよい社会にできることを技術の学習でアプローチしているコーナーが冒頭にあり、技術を学習する意義が伝わる。
- ・企業の製品開発の内容を取り上げているのは、将来社会人になってからのイメージがわくのでよい教材だと思った。

次に技術・家庭の家庭分野では、

- ・巻末のマークとラベルのコーナーが、日常生活と家庭分野がつながっていることを生徒に意識させるために役立つと思った。
- ・Society 5.0を中学生で学べることは、これからの世の中を歩む中学生にはよい題材だと思った。

次に英語では、

- ・Can Doリストが教科書のわかりやすい場所にあったほうが、意識して学習に取り組むことができるためよいと思う。
- ・ICTの活用やQRコードで、音声や動画を使えるのは、実践向きな内容でとても良いと感じた。

最後に道徳では、

- ・ここ数年の社会問題でもあるネットやSNS、マイノリティも題材になっており、生徒が身近に感じ、考え、意見を述べやすいように工夫されているのがよいと感じた。
- ・漫画を使って、子供たちが入りやすい導入方法にしているところがよかった。

議長

- ・何か質問はあるか。

(3) 専門員による研究結果の聴取	委員	・ (質問なし)
	議長	・ 次に「専門員による研究結果の聴取」について、採択協議会規約第14条により設置した専門員からの調査研究結果の報告をいただき、その後質疑応答という流れで行う。 ・ 種目の順に国語から報告をいただく。
	専門員代表	・ 国語の調査研究結果を報告する。 ・ (報告書に基づいて4者について報告する。)
	議長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
	委員	・ ICT を活用して、個別最適な学びを実現するために、どのような工夫がされているか。
	専門員代表	・ 全者、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを各教材に配置している。デジタルコンテンツの内容について、東京書籍では、学習の手順や言語活動例、思考ツール等を活用することで、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。 ・ 三省堂では、解説動画やデジタルドリル、補充教材等を活用することで、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。 ・ 教育出版では、自学自習用の資料や参考図書、動画・画像資料等を活用することで、各領域の学習内容を補完できるように工夫されている。 ・ 光村図書では、音声や動画資料、「国語の力試し」CBT等のデジタル教材を活用することで、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。
	委員	・ 学習指導要領で求められている、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得のために、どのような工夫がされているか。
	専門員代表	・ 東京書籍では、「読むこと」教材のてびきにある「広がる言葉」の中で、作品中の表現と関連する言葉を学ぶことにより、語感を磨き語彙を豊かにすることができるよう

	に工夫されている。 三省堂では、「読むこと」教材の脚注に掲載している意味を調べる語と、対義語や類義語を同時に掲載し、語彙を広げることができるように工夫されている。 教育出版では、「読むこと」教材の中で、重要な語句や表現を脚注欄に学習上の観点とともに掲載し、教材の理解を助けるように工夫されている。 光村図書では、各学年の巻末に「語彙ブック」を掲載し、語句や話型、文型を参照することで、自分の思考や感情を的確に言語化できるように工夫されている。
委 員	主体的に学習に取り組む態度を育成するために、どのような工夫がされているか。
専 門 員 代 表	東京書籍では、各教材に「てびき」を設け、見通しから振り返りまでの学習の流れをつかむことができるようになっている。また、巻末には「言葉の力」一覧を設け、3年間の学習の見通しをもつことができるようになっている。 三省堂では、各教材に「学びの道しるべ」を設け、見通しをもって学習ができるように工夫されている。また、「読むこと」と「書くこと」の学習を関連付けて単元を配置し、既習内容を生かすことができるように工夫されている。 教育出版では、教材の最初に掲載している「学びナビ」や学習の手引きとして掲載している「みちしるべ」により、学習の見通しや系統性を確認しながら学習を進めることができるようになっている。 光村図書では、巻頭に「学習の見通しをもとう」を掲載し、身に付ける力や学習の系統性が分かるようになっている。また、各教材に「学びへの扉」が掲載されており、学習の見通しをもつことができるようになっている。
委 員	持続可能な社会の創り手を育成するために、どのような工夫がされているか。
専 門 員 代 表	東京書籍では、「読むこと」の作品や、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動の題材の中に、SDGsを意識して選定されたものがある。また、教科書全体を通

して設定されている「未来を考える9つのテーマ」や学年末教材の「未来への扉」は、SDGsに関する内容を扱っている。

三省堂では、各学年に人権、経済・社会、地球環境を中心にSDGsと関連した教材を掲載し、対話や合意形成等の具体的方法、そのために欠かせない論理的な思考力・判断力・表現力等を育成できるように配慮されている。教育出版では、各学年に「総合（SDGs）」という教材を掲載し、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に学習することができるようになっている。また、教科書の巻頭にある「言葉の地図」において、各教材とSDGsの関係が明記されている。

光村図書では、全学年にSDGsを題材とした特設教材「情報×SDGs」を設け、今日的な諸課題を自分の問題として多角的に考えられるように配慮されている。また、巻頭にある「学習の見通しをもとう」において、各教材とSDGsの関連が明記されている。

議長

他に質問はあるか。

委員

（質問なし）

議長

・ 続いて、書写の報告をお願いします。

専門員
代表

・ 書写の調査研究結果を報告する。
（報告書に基づいて4者について報告する。）

議長

・ ただいまの報告について質問はあるか。

委員

・ 毛筆と硬筆の関連について、各者どのように取り扱われているか。

専門員
代表

・ 東京書籍では、硬筆で課題を発見し、毛筆で実際に確かめ、硬筆で生かすという学習過程をとおして、硬筆と毛筆の関連性を図るようになっている。また、巻末にある「書写活用ブック」で、毛筆で学習した内容を硬筆に生かせるようになっている。

三省堂では、毛筆で基本点画や筆使いの特徴を学んだ後、硬筆教材「書いて身につけよう」で確かめる構成になっ

ており、毛筆と硬筆の関連性を図るようになっている。

「書いて身につけよう」は、教科書に直接書き込むことで、毛筆で学んだことを硬筆にも生かせるようになっている。

教育出版では、毛筆教材の初めに硬筆による試し書きを設けたり、終わりに硬筆によるまとめ書きと応用を設けたりして、毛筆と硬筆の関連を図るようになっている。また、「学習を生かして書く」という教材を設け、毛筆で学習したことを硬筆で振り返ることができるようになっている。

光村図書では、各教材の中に、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く「生かそう」が設けられている。また、別冊の硬筆練習帳「書写ブック」を設け、毛筆で学んだ学習内容を硬筆に生かして繰り返し学ぶことで、書く力を身に付けられるようになっている。

委員

- ・生徒の学びをサポートするために、各者どのようなデジタルコンテンツの工夫がされているか。

専門員
代表

- ・東京書籍では、二次元コードが教材に掲載されており、運筆動画や補助教材、資料などのデジタルコンテンツを活用することができるようになっている。教科書に掲載されている「書写テストに挑戦」をデジタルコンテンツにも取り入れ、繰り返し学べるようになっている。

三省堂では、各教材に二次元コードが掲載されており、解説動画や補助教材、資料などのデジタルコンテンツを活用することができるようになっている。書き方の細かなポイントや姿勢、筆の運び方などを動画で確認できるようになっている。

教育出版では、二次元コード「まなびリンク」が掲載されており、運筆動画や補助教材、資料などのデジタルコンテンツを活用することができるようになっている。デジタルコンテンツにあるワークシートを活用することで、学習したことの記録や振り返りができるようになっている。

光村図書では、各教材に二次元コードが掲載されており、運筆動画や体操動画、資料などのデジタルコンテンツを活用することができるようになっている。姿勢や筆使いなどの解説動画の他、文字文化への理解が深まる写真、

	左利き用紙面などを掲載した補充教材も収録されている。
議 長	・ 他に質問はあるか。
委 員	・ (質問なし)
議 長	・ それでは国語と書写の報告は以上とする。 続いて、社会と地図の報告をお願いする。 はじめに、社会（地理的分野）の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代 表	・ 地理の調査研究結果を報告する。 (報告書に基づいて4者について報告する。)
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 他教科、他分野と連携を図るためにどのような工夫がされているか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍では、社会科学習を貫く、「環境・エネルギー」や「伝統・文化」などの5つのテーマについて、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、関連を示すマークをつけていて、多面的・多角的な学習ができる工夫がみられる。 教育出版では、見開き右ページ下に「関連マーク」をつけて、歴史的分野や公民的分野との連携を図ることができる工夫とともに、歴史に関する記述や資料を掲載するなどの工夫がみられる。 帝国書院では、3分野にまたがる「未来に向けて」というコラムを設定し、分野を超えて学習を深めたり、多面的・多角的な見方を養う工夫がみられる。 日本文教出版では、本文ページの脚注において、連携コーナーなどが設定され、歴史的分野や公民的分野の学習に関連する事項を確認・活用する工夫がみられる。
委 員	・ 主体的・対話的で深い学びの実現のためにどのような工夫がされているか。

専門員 代表	東京書籍では、単元を貫く探究課題を立てる「導入」、1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」、探究課題を解決する「まとめの活動」の形で、単元が構造化され、課題解決的な学習が進めやすくなる工夫がみられる。 教育出版では、テーマを決めてまとめたレポートを学級で話し合ったり、意見交換をする対話学習の場面、野外調査の中でテーマを決めたり調査結果を発表し合う場面が設けられていて、教え合いや協働学習を通して考えを深めるための工夫がみられる。 帝国書院では、単元を貫く「章・節の問い」、見開きの「学習課題」「説明しよう」「確認しよう」及び、単元最後の「学習を振り返ろう」という構成の中で、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 日本文教出版では、「問い」を構造化することで、内容のまとまりでの授業が行いやすく、教科書の問いに沿って授業を進めていく上で、主体的・対話的で深い学びを実現できる工夫がみられる。
委員	QRコードが掲載されているが、どのようなコンテンツが用意されているか。
専門員 代表	東京書籍では、学習内容をイメージできる「導入クリップ」という動画や、白地図や雨温図などのデータ、授業で活用できる短時間動画、端末で活用できるまとめの活動コンテンツなどが用意されている。 教育出版では、資料の読み取りを説明した動画や、学習内容をクイズ形式で答える動画、「地理の技」という略図を描くコーナーの解説動画などが用意されている。 帝国書院では、教科書の導入ページの写真を動画にした「写真で眺める」や文章表現ではわかりにくい内容を映像にした「図解アニメーション」、「学習を振り返ろう」「アクティブ地理」のワークシートが用意されている。 日本文教出版では、教科用図書全体を通して、「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の3つのコンテンツが系統的に設定され、家庭学習でも利用できる工夫がみられる。
委員	現代的な課題とされる多様性の尊重については、どのよ

	うに取り扱っているか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍では、「もっと知りたい」や「未来にアクセス」などのコーナーを設け、世界の様々な宗教や文化を取り上げたり、多国籍の人々が暮らす町の様子を取り上げたりするなど、多文化共生に向けた視点と人権への意識を高めるよう工夫されている。 - 教育出版では、世界の様々な民族・文化と社会との関わりを通して、多様な価値観や文化に対する理解と寛容の態度を育むことができる内容を取り上げ、差別のない「ともに生きる・ともに創る」社会の実現を追求する力を養うように工夫されている。 - 帝国書籍では、世界や日本の各地には、様々な立場や考え方があることを認識できるよう、「未来に向けて 人権・多文化」コーナーが設定されていて、多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿を取り上げ、異なる価値観に対する理解と寛容的な態度を養うように工夫されている。 - 日本文教出版では、身近にある多文化共生の事例を通して多文化共生社会の重要性を認識することや、「地理+α」というコラムで、LGBTを取り上げるなど様々な背景をもつ人々と共生しようとする態度を養う工夫がみられる。
議 長	・ 他に質問はあるか。
委 員	・ （質問なし）
議 長	・ 次に、社会（歴史的分野）の調査研究結果の報告をお願いします。
専 門 員 代 表	・ 歴史の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて8者について報告する。）
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 日本の歴史と世界の歴史の関連についてどのように扱われているか。

専門員
代表

- ・ 東京書籍では、古代文明や三大宗教、イスラム世界やモンゴル帝国の拡大などを取り上げ、我が国の歴史を国際的な視点からとらえるように扱っている。
教育出版では、章ごとに年表が設定され、その中で日本と世界の動きが対比できるように構成され、同時代の日本と世界の動きを一目で理解できるように工夫されている。
帝国書院では、日本と世界のつながりが重視される単元に、特設「世界とのつながりを考えよう」を設け、日本の歴史に関連する世界の動きを理解できるよう工夫されている。
山川出版社では、世界史の記述を充実させており、日本との歴史の関連や現在の国際情勢との関連を意識した文章表現とともに、日本と世界の歴史を帯年表で比較できるよう工夫されている。
日本文教出版では、聖徳太子の歴史を東アジアの変化の中で、元寇をユーラシアの変化の中でとらえるなど、我が国の歴史の背景となる世界の歴史の記述を充実している工夫がみられる。
自由社では、「外の目から見た日本」のコラムや、日本と世界の関わりが年表で一目で分かるように掲載されるなど、世界とのつながりを意識した記述や図表が多く取り上げられている。
育鵬社では、世界の歴史の記述が、章のはじめに多く取り上げることで、日本の歴史が世界の動きの中でどのように展開していったのかが理解できるよう配慮されている。
令和書籍では、古代、中世といった時代の転換区分の最後にその時代の日本と世界の動きが年表で示されており、同時代の世界と日本の出来事を一目で比較できるように工夫されている。

委員

- ・ 生徒が多面的・多角的に歴史を捉えられるようにするためにどのような工夫がされているか。

専門員
代表

- ・ 東京書籍では、単元の展開部で、歴史に関わる事象の意味や意義、文化の特色、歴史にみられる課題などを多面的・多角的に考察できるよう学習課題が設定され、1時間の振り返りができるよう工夫されている。

教育出版では、「歴史を探ろう」の特設ページで、通史的に学んだ内容を、視点を変えて捉えなおすとともに、「歴史の窓」というコラムで、歴史を多面的・多角的に捉えるよう工夫されている。

帝国書院では、中央の歴史だけではなく、琉球やアイヌなど地方の歴史について掲載したり、各時代の文化史を豊富に掲載したりすることで、歴史を多角的に捉えられるよう工夫している。

山川出版社では、「歴史へのアプローチ」というページで、時代を通した視点・グローバルな視点でみたテーマやポイントを絞ってクローズアップした10のテーマを取り上げ、多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。日本文教出版では、歴史的背景や今日までの取組が理解できるように課題が設定され、その課題の解決を多面的・多角的にとらえることができる学習活動が設定されるなどの工夫がある。

自由社では、「もっと知りたいコラム」や「外目の日本」が豊富に掲載され、歴史的な事象を多面的・多角的に捉えることができる工夫がなされている。

育鵬社では、社会的な事象を歴史的な見方や考え方を踏まえてどのように捉えるかに関する事例と学習方法を取り上げ、その中で問いに答える形で多面的・多角的なものを見方ができるよう配慮されている。

令和書籍では、随所に「考えよう」や「問い」や「ヒント」が掲載され、生徒が資料を比較したり、対話による学習活動を通して、多面的・多角的に理解できるよう工夫されている。

委員 ・ 学びを深め広げるための資料について、各者どのような工夫があるか。

専門員代表 ・ 東京書籍では、「スキル・アップ」コーナーを設け、歴史地図・文献資料等の様々な資料の読み取りや調査の分析の手法などが習得できるよう工夫されている。

教育出版では、写真やイラスト、地図、グラフ、図解などの資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的に捉えやすく、また、本文中にも資料との関連が分かるように資料番号が付けられるなどの工夫がある。

帝国書院では、本文と関連する箇所には、図・写真や他

のページの参照指示が記載され、効率よく資料の活用ができ、学習効果が高められる工夫がみられる。

山川出版社では、「歴史を考えよう」で美術作品や史料だけではなく、高等学校で扱う史料も扱っており、高校に円滑につなげられるように工夫されている。

日本文教出版では、本文と関連が明確になるように図や資料が掲載され、当時のイメージを具体的に確かむことができる資料が豊富に掲載されている。

自由社では、写真・地図・系図などの資料が豊富で、且つ大きく掲載されているので、生徒にとっては見やすくなっており、また、古代の天皇家に関するイラスト系図を載せるなどの工夫がみられる。

育鵬社では、日本の伝統と文化を大胆かつ豊富に取り上げていて、「日本の美の形」や「歴史絵巻」などの特設ページなど、文化遺産の魅力などが生徒にダイナミックに伝わるよう工夫し掲載されている。

令和書籍では、巻末資料として歴史地図が詳細な解説とともに掲載されるとともに、「日本美術図鑑」として資料集に匹敵するほどの様々な美術作品が掲載されている。

委員 ・身近な地域を通した歴史学習についてどのような工夫がされているか。

専門員
代表 ・東京書籍では、「地域の歴史を調べよう」というページを設け、時代や地域の異なる5事例を取り上げ、身近な地域の歴史を学ぶことができるよう工夫されている。

教育出版では、「身近な地域の歴史を調べよう」が設けられ、地域の文化財や文化施設を多数取り上げ、地域の歴史や伝統・文化に対する興味関心を高める工夫がみられる。

帝国書院では、地域の生活に根差す遺物を事例として取り上げ、郷土愛を養うとともに、「地域史」で各地の文化や産業、当時の社会の様子を理解することができるよう工夫されている。

山川出版社では、「身近な地域を調べよう」のページで、実際の中学生を想定し、調査の順序を示したり、注意事項を掲載するなど、生徒が地域の歴史に興味関心をもつことができるよう工夫されている。

日本文教出版では、身近な地域の歴史の調査の仕方や考

	察の仕方、発表の仕方を解説するとともに、「地域に学ぶ」を掲載して、地域の具体的な事例とのかかわりで我が国の歴史を理解させる工夫がみられる。 自由社では、身近な歴史の学び方や調査・まとめ・発表の仕方などが提示されており、その学習活動を通して我が国の歴史を捉えなおすことができるような工夫がみられる。 育鵬社では、「地域の歴史を調べてみよう！」で、テーマ設定や調査、分類・分析、発表の仕方を丁寧に解説し、地域に残る文化財や諸資料を活用することで理解が深まるよう工夫されている。 令和書籍では、主な歴史的事象の中に、資料とともに身近な地域の歴史に着目する記述があり、また、歴史の調べ方やまとめ方、捉え方などの方法が丁寧に提示されるなど配慮がみられる。
議 長	・他に質問はあるか。
委 員	・（質問なし）
議 長	・次に、社会（公民的分野）の調査研究結果の報告をお願いします。
専 門 員 代 表	・公民の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて6者について報告する。）
議 長	・ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・生徒が社会に参画する意識を高めるためにどのような工夫がされているか。特徴的なものを何者か絞って聞きたい。
専 門 員 代 表	・東京書籍では、中学生が社会参画している事例を取り上げたり、「インタビューコラム」で、実際に社会に参画している人々の姿を理解させることを通して、生徒一人一人が社会参画について理解できるよう工夫されている。 ・帝国書院では、「アクティブ公民」の特設ページを設け、様々なテーマに基づいて、掲載資料を活用してディスカッションなどの学習活動により、社会への参画意識を高

	める工夫がみられる。
委 員	・ 小学校の学習との関連付けについて、どのように扱われているか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍では、単元の導入部に、小学校社会で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設け、また、小学校4年間と中学校3年間の「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるように扱われている。 教育出版では、小学社会のキャラクターが中学生に成長した姿で掲載されるとともに、小学校学習指導要領に記述されている「三権相互の関連」「価格と費用」などが、さらに深化させた学習が展開できるよう配慮されている。 帝国書院では、小学校での学習に関連のある題材に「小学校との関連」というアイコンを付けて、既習事項を踏まえて事象を多面的・多角的に捉える足掛かりを設定している。 日本文教出版では、単元の導入ページ「学習のはじめに」で、小学校社会科における公民的分野に関わる学習内容を再確認できるように工夫されている。 自由社では、見開きページの掲載資料の中で、小学校で学習した内容を振り返ることができる解説がつけられているとともに、「ミニ知識」というコーナーでも、小学校の学習内容を振り返り、中学校でさらに深化した学習となるような説明が掲載されるなどの工夫がある。 育鵬社では、小学校社会で学習した内容については、各章扉で紹介することで、小学校社会と中学校社会の系統性が一目で分かるように工夫されている。
委 員	・ 現代社会の見方・考え方を働かせるためにどのような工夫がされているか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍では、各単元の学習の冒頭に、「見方・考え方」を明示するとともに、学習の過程にも「見方・考え方」を働かせるコーナーを設けており、学習が深められるよう工夫されている。 教育出版では、「現代社会の見方・考え方」の視点や方法として、資料解説の問いや、表現のコーナーの問いなど

に「見方・考え方」マークをつけて、問いの考察に際して働かせるべき視点や考え方の示唆ができるよう工夫されている。

帝国書院では、各章末に「学習を振り返ろう」が設置され、章の学習で得た知識を生かして、「社会的な見方・考え方」を働かせながら、単元を貫く問いに答えるよう工夫がみられる。

日本文教出版では、「アクティビティ」や「チャレンジ公民」などの見方や考え方コーナーを設けており、学習課題の解決に向けての手がかりとなる見方や考え方の例を提示するなどの工夫がみられる。

自由社では、「もっと知りたい」という特集ページにおいて、既習事項をより深めるための内容や資料が掲載され、見方や考え方を働かせながら思考を深める工夫がみられる。

育鵬社では、公民としての見方・考え方を働かせるためのコーナーが意図的に掲出されており、公民学習における思考力・判断力等を育成できる工夫がみられる。

委 員

- ・ 課題の追求、解決をする活動を充実させるためにどのような工夫がされているか。

専 門 員
代 表

- ・ 東京書籍では、単元を貫く探究課題をつくる導入の活動、1 単位時間ごとの学習課題を解決しながら進める問いの研究、探究課題を解決するまとめの活動などの形で、問いを軸に構造化されている工夫がみられる。

教育出版では、単元の導入のページで、見方や考え方をどのように働かせるのかについて紹介しており、それに基づいて見通しや振り返りの学習活動に取り組みやすい構成になっている。

帝国書院では、単元を貫く「章・節の問い」、見開き 1 時間の「学習課題」「確認しよう」、節の終わりには「節の問いを振り返ろう」、章の終わりには「学習を振り返ろう」という問いが構造化され、課題解決的な学習ができる構成となっている。

日本文教出版では、単元を貫く問いが構造的に設定され、まとめと振り返りのページでは、学習したことを振り返り、QR コンテンツで、ポートフォリオを蓄積することができるなど、生徒が主体的に取り組むやすい工夫がみら

	れる。 自由社では、章ごとのまとめのページに、単元に関わる課題とそれを解決するための方策が示され、また、提示資料を踏まえて課題の解決策を考えたり、話し合ったりするなど生徒の学習活動が行いやすい工夫がみられる。 育鵬社では、「学びのナビゲーション」のページで、課題をつかむ、調べる、まとめる、表現するなどの課題解決型の学習の流れが分かるように示され、学び方の方法や手段、まとめ方なども明示され、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。
議 長	・ 次に、地図の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代 表	・ 地図の調査研究結果を報告する。 (報告書に基づいて2者について報告する。)
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 社会科の他分野との関連を図るためにどのような工夫がされているか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍では、歴史の学習内容と関わりの深い資料には歴のマークが付けられており、また公民の学習内容と関わりのある資料や地図には、公のマークがつけられ、一目で他分野と関連した資料であることが判別できる工夫がある。 ・ 帝国書院では、歴史学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトルの横に、「歴史アイコン」があり、また、公民の学習内容と関係が深い地図や資料にも「公民アイコン」がつけられるなど、歴史の舞台を認識したり、国際協調の取組の重要性を認識できる工夫がある。
委 員	・ S D G s に代表される現代的な課題についてはどのように扱われているか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍ではS D G s の17のゴールの一覧ページを掲載するとともに諸課題に関する資料を豊富に掲載し、S D G s アイコンを設置することで、地図との関連を図れるように工夫されている。

	帝国書院では、「地図で考える持続可能な社会」を7ページにわたって特集しているとともに、SDGsの17のゴールと関係が深いページにSDGsマークが付けられていたり、地図及び資料がSDGsとどのように関係づけられているのか、QRコードで読み取ることができる工夫がある。
議 長	・他に質問はあるか。
委 員	・（質問なし）
議 長	・それでは社会と地図の報告は以上とする。 続いて、数学の調査研究結果の報告をお願いします。
専 門 員 代 表	・数学の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて7者について報告する。）
議 長	・ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・数学への興味・関心を高めたり、基礎的な力を身につけたりするために、どのような工夫がなされているか。特徴的なものをいくつか伺いたい。
専 門 員 代 表	・東京書籍では、興味関心を高める点では、数学とのつながりを意識させたい箇所には「MATH CONNECT」の印がついている。 学校図書では、巻末や章の中でコラムを豊富に取り入れ、身近な題材や数学史、数学の活用について題材を取り上げている。 基礎的な力を身につける点については、東京書籍では、確実に理解し習得すべき問題にはマークとチェックボックスを付け、繰り返し学習しやすくなっている。 啓林館では、QRコンテンツの補充問題により繰り返し取り組める問題が多く用意されている。
委 員	・デジタルコンテンツの掲載状況やどのように活用できるか特徴的なものについて教えてほしい。
専 門 員	・東京書籍では、本編のページ下にQRコードを示し、動

代表	画やシミュレーション、ワークシート、補充問題が豊富にある。 学校図書では、操作しながら学べるものやアニメーションによる解説、既習事項の振り返りなど10種類のデジタルコンテンツがある。 啓林館では、学びを確かめたり、身に付けるためのコンテンツが豊富にあり、授業での多様な指導や生徒個々の興味・関心に応じた学びを深めるために活用できる。
委 員	・ 数学的な見方・考え方を働かせる学習の一層の充実が求められているが、数学的な見方・考え方を働かせるためにどのような工夫がなされているか。特徴的なものを何者か絞って伺いたい。
専 門 員 代 表	・ 啓林館では、巻頭に「たいせつな考え方」として具体例を示すとともに、本編では、見方・考え方に該当する箇所本文に下線を付けるとともに、側注に標識で示し可視化させている。 数研出版では、生徒のキャラクターの対話を活用して、学びながら自然に数学的な見方・考え方が働くように対話の場面が多く設定されている。
議 長	・ 他に質問はあるか。
委 員	・ (質問なし)
議 長	・ それでは数学の報告は以上とする。 続いて、理科の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代 表	・ 理科の調査研究結果を報告する。 (報告書に基づいて5者について報告する。)
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 理科への興味・関心を高めたり、知識・技能を習得させたりするために、どのような工夫があるか。特に工夫されている点について教えてほしい。
専 門 員	・ 東京書籍では、写真やイラストをダイナミックに掲載す

代表	ることで、写真やイラストから生徒が考える活動につながる工夫がされている。また、知識・技能の習得では、練習問題や実験器具の操作説明もQRコンテンツで確認できるようになっている。 学校図書では、1時間ごとに「課題」と「まとめ」が示されたり、随所に既習事項が示されたり、単元末には「学習のまとめ」が設けられている。観察・実験では、手順や結果の例が写真や表で示されており、観察・実験の近くに「基本操作」が掲載されている。
委員	理科を学ぶことの意義を実感させるために特に工夫がみられるものについて伺いたい。
専門員 代表	東京書籍では、身近な疑問や例が多数掲載されており、「まちなか科学」「お仕事図鑑」「歴史にアクセス」など日常生活と関連付けながら学ぶことができるようになっている。 教育出版では、「ハローサイエンス」において、日常生活や社会との関わりが紹介されているほか、他教科で学習した内容についてマークが付けられ、他教科と関連付けられるよう配慮されている。
委員	学びを深め広げるためにデジタルコンテンツはどのように活用されているか。
専門員 代表	東京書籍では、練習問題、ワークシート、説明動画、シミュレーション、思考ツール、VRなどのQRコンテンツが豊富に用意され、学びのフローチャート、探究活動の段階が見て分かるように示されている。 大日本図書では、ウェブコンテンツが用意され、実験操作、事象や現象の説明動画、調べ学習のワークシート、WEBテストなどで活用されている。 学校図書では、各ページに設けられたQRコードから既習事項の確認や、動画や操作系の教材、「ミライ教科書」の閲覧ができるようになっており、客観性をもたせるようにしている。 教育出版では、QRコードから、既習事項の確認や、実験操作等の説明、「まなびリンク」での習熟度に合った個別最適な学びをサポートする資料にアクセスし、活用で

	きるようになっている。 啓林館では、目的、方法、結果、考察を一本のラインで示されていて、流れが分かるようになっている。また、QRコンテンツが要所に載っている。
議 長	・他に質問はあるか。
委 員	・（質問なし）
議 長	・それでは理科の報告は以上とする。 続いて、音楽の報告をお願いします。 はじめに、音楽（一般）の調査研究結果の報告をお願いします。
専 門 員 代 表	・音楽（一般）の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて2者について報告する。）
議 長	・ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・個別最適な学びと協働的な学びを充実させる点はあるか。
専 門 員 代 表	・教育出版では、「まなびリンク」のマークが示され、学習に対応した動画等の資料がWEB上に用意されており、生徒の個別最適な学習に即して配慮されている。また、合唱曲が十分に用意されており、音を合わせて演奏する活動や、グループで表現したり交流したりする創作活動を通して、協働的な学びを充実させる工夫がされている。教育芸術社では、QRコードが豊富に用意されており、演奏者のメッセージ動画や歌唱共通教材の演奏と風景動画から、歌唱や器楽の基本的な演奏方法、鑑賞曲の譜例及び再生部分が一目で分かる動画、創作活動をサポートするツールなど、個別最適な学びを支える工夫がされている。また、合唱曲、創作などのグループで活動する教材も、十分に用意されている。
委 員	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てとして、有効な点はあるか。

専門員 代表	・教育出版では、進んで学び合うための「Active!」「話し合おう」という活動が設定されている。自分の考えや見方、感じたことなどを記述し、他者との交流を通して学びを深めていく工夫がされている。創作教材においては、教材ごとに作品を発表し交流するなど、主体的・対話的な学びとなるよう工夫されている。 - 教育芸術社では、各教材において目標とする学習内容やその方法、考えたいポイント、学習に必要な情報が明確に示されており、主体的に学習を進められるよう工夫されている。「学びのコンパス」では、学びの手立てが示されており、見通しをもって学習に取り組むことができる他、生徒同士や指導者との対話が促され、自己の考えを広げたり深めたりする機会となるよう工夫されている。
議 長	・他に質問はあるか。
委 員	・（質問なし）
議 長	・次に、音楽（器楽合奏）の調査研究結果の報告をお願いする。
専門員 代表	・音楽（器楽合奏）の調査研究結果を報告する。（報告書に基づいて2者について報告する。）
議 長	・ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・生徒にとって馴染みのない楽器もあるが、各楽器の特徴や基本的な奏法を理解し、主体的に取り組むための工夫としてどのようなものがあるか。
専門員 代表	・教育出版では、楽器の構え方や運指、奏法などの演奏に必要な知識について、写真や図などを用いてわかりやすく提示されており、学習を進める際の手立てとなるよう配慮されている。また、楽曲が基礎的、簡易的なものから発展的で難易度が高いものまで系統的に配置されており、段階的、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 - 教育芸術社では、各楽器の冒頭に、楽器の部分の名称や奏法について、写真とともに詳しい説明や初歩的な練習

	課題が提示されており、無理なく取り組める配慮がされている。また、QRコードによるデジタルコンテンツにも、楽器の構え方や奏法についての説明や模範演奏の動画があり、主体的に取り組むことができるように工夫されている。
委 員	・ 楽器を使った表現活動を通して、どのように思考力・判断力を育む工夫があるか。
専 門 員 代 表	・ 教育出版では、学習目標の提示、学習目標にせまるための手立てとしてイラストの吹き出しで思考を深める問いかけがされるなどの工夫がされている。また、「音のスケッチ」は、創作や演奏をとおして音楽の構造について考える実験的な課題であり、音色や奏法について創意工夫を促すことで、楽曲にふさわしい表現方法を工夫するなどの思考力・判断力を育む工夫がされている。 教育芸術社では、知覚・感受したことをもとに思考・判断を行うためのヒントがキャラクターの吹き出しで示されている他、思考した内容を記述する場面が設定され、実際に演奏して確かめるなど、適切な配慮がされている。また、「学びのコンパス」では、音楽の諸要素について考える課題が提示されており、表現活動をとおして思考力・判断力を育むための工夫がされている。
議 長	・ 他に質問はあるか。 ・ （質問なし）
議 長	・ それでは音楽の報告は以上とする。 続いて、美術の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代 表	・ 美術の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて3者について報告する。）
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 著作権との関連について、どのように扱われているか。
専 門 員	・ 三者とも著作権やSDGs等、社会的課題について触れ

代表	たり、配慮したりしている。 開隆堂では、57ページにおいて著作権について美術1で1ページ使って明示している。 光村図書では、別紙資料22ページで「注意」として著作権や肖像権について触れている。 日本文教出版では、8ページ「教科書の使い方」や動画表現のページで著作権や肖像権に触れている。
委 員	生徒が主体的に表現できるようになるために、各者どのような工夫がみられるか。
専 門 員 代表	三者とも、生徒が主体的に表現活動に取り組めるよう、学習目標やマーク、囲みや吹き出しを使って、学習にも見通しをもたせる工夫があり、タブレットP Cの活用を前提に、QRコンテンツを充実させている。 開隆堂では、多様な鑑賞のしかたを提案するページや身近に感じられる作品を掲載することで、鑑賞活動からヒントを得て表現活動に入れる紙面構成となっている。 光村図書では、全ての題材ではないが「みんなの工夫」というページをつくり、生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を丁寧に紹介していて参考になる。 日本文教出版では、巻末に「学びを支える資料」のページがあり、技法の紹介のみならず、発送や構想の手立てや作品から表現のヒントを得られるように工夫されている。
議 長	他に質問はあるか。
委 員	(質問なし)
議 長	それでは美術の報告は以上とする。 次に、保健体育の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代表	保健体育の調査研究結果を報告する。 (報告書に基づいて4者について報告する。)
議 長	ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	日常生活に学習した知識や技能を生かせるようにどのよ

	うな工夫が各者でみられるか。
専門員 代表	- 東京書籍では、各単元に「活用する」の項目を、各章末の「学習のまとめ」に「日常生活に生かそう」を設け、考えたり記入したりするようになっている。 - 大日本図書では、各単元の「活用して深めよう」や各章末の「学びを活かそう」で、学習内容をどのように生活に活かせるか、考えを記入するようになっている。 - 大修館書店では、「学習のまとめ」で学習したことをもとに考えて話し合う活動や「章のまとめ」の思考・判断・表現の問題で考えをまとめ記述できるよう、学んだことを日常生活に活かせるようになっている。 - Gakkenでは、「章のまとめ」を設定し、知識が身に付いたかを客観的に振り返り、「生かそう」「生活への活用」で習得した知識を活用できるよう工夫している。
委員	現代的な諸課題について、各者でどのような工夫がみられるか。
専門員 代表	- 東京書籍では、生徒たちのwell-beingを目指してという視点のもとに、「多様性・共生」「性の多様性」「心の健康」「SDGs」などを取り上げ、資料や本文、イラストにまでこだわった紙面になっている。 - 大日本図書では、様々な状況や変化に積極的に向き合い、自分自身の考えをもって生きていくことができるよう「多様性の尊重」「感染症」「熱中症」「情報リテラシー」など多くの現代的な課題を取り上げている。 - 大修館書店では、「性の多様性」「心の健康」「がん教育」「スマートフォンと健康・安全」など様々な課題を随所に取り上げている。特に、子供たちの心と体を取り巻く健康課題については、正しい知識とともに、対処法にも言及されている。 - Gakkenでは、「ウェルビーイング」「多様性、多様な学び」「身の回りのさまざまな課題」「キャリア教育」などの視点で課題を取り上げている。特にキャリア教育では、「JOB」や保健体育で活躍している人のコメントやメッセージで、将来について考えられるようにしている。

議 長	・ 他に質問はあるか。
委 員	・ (質問なし)
議 長	・ それでは保健体育の報告は以上とする。 続いて、技術・家庭の報告をお願いする。 はじめに、技術・家庭（技術分野）の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代 表	・ 技術・家庭（技術分野）の調査研究結果を報告する （報告書に基づいて3者について報告する。）
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 技術分野では技術による問題の解決に主体的に取り組めるようにするためにどのような工夫がみられるか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍は、学習の流れを全ページで統一し、深い学びを促す活動では学習内容に沿って主体的・対話的に取り組めるようにしている。 教育図書は「技術の基礎内容」、「技術による問題解決」「社会の発展と技術」の流れで、「技術の見方・考え方」を意識させようとしている。また、問題解決のプロセスを生徒が理解し易い4つのステップで指名しているほか、技術のプラス面・マイナス面を説明している。 開隆堂は「技術の基礎・基本を学ぶ」、「技術による問題解決を行う」、「技術のこれからを考える」の流れで、問題解決の振り返りから社会へと視点を広げるという形をとっている。また、技術の見方・考え方を各内容で繰り返し働かせることでステップアップしながら、実践的な問題解決力の育成を図っている。
委 員	・ ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングの扱いについて、各者の特色はどのようなか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍は、巻末の「プログラミング手帳」に、4種のプログラミング言語での操作方法を載せている。チャットシステムを例に、メッセージを送信する側と受信する側でどのような情報処理をしているかを説明し、双方向

	性のあるコンテンツを分かり易く説明している。 教育図書は、双方向性のあるコンテンツを分かり易く説明するために、ネットショップの注文側のコンピュータと企業側のサーバとの間でのインターネットを介したやりとりを例に図で示している。別冊のスキルアシストに2種のプログラミング言語と操作方法を載せている。 開隆堂は、題材例をメッセージ交換アプリなど7例を掲載し、巻末資料に複数のプログラミング言語とプログラム例を載せている。プログラムによる問題の発見と課題の設定に重点を置き、設計・制作の場面ではプログラム例の使い易さ等を考えて制作できるようにしている。
議 長	・他に質問はあるか。
委 員	・（質問なし）
議 長	・次に、技術・家庭（家庭分野）の調査研究結果の報告をお願いします。
専 門 員 代 表	・技術・家庭（家庭分野）の調査研究結果を報告する。（報告書に基づいて3者について報告する。）
議 長	・ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・成年年齢引き下げやキャッシュレス化など、社会の課題に対応した消費者教育について各者ではどのように取り組まれているか。
専 門 員 代 表	・東京書籍は、関連する内容に「消費者マーク」をつけてわかりやすく示されている。消費者の権利や責任など、変化の激しい社会に対応できる消費者の育成を目指し、イラストを活用しやすい工夫がされている。 教育図書は、「計画的な金銭管理」として三者間契約を図で示したり、クレジットカードのキャラクターとの対話で学習を進める工夫がされたりしている。様々なキャッシュレス決済についても写真やイラストで紹介されている。また、消費者被害や消費者の権利と責任などについても、イラストや図解をもとに解説されている。 開隆堂は、「キャッシュレス決済の利便性と管理」につい

	てや、「オンラインゲームへの課金」について等、実生活と結びつけて考えられるようにしている。また、事例を、イラストを使用して視覚的にわかりやすく示している。
委 員	・ 家庭科の授業で学んだことを生活に生かしていく、または定着させていくための工夫にはどのようなものがあるか。
専門員 代表	・ 東京書籍は、各編末に「生活に活かそう」を設け、学んだことを生活に返すよう促している。 教育図書は、本文内「やってみよう」に知識・技能や手順を詳細に掲載している。 開隆堂は、調理や製作の実習例が多い上、「調理方法Q&A」を示し、家庭で実践する際にも参照できる。 各者ともQRコンテンツが充実しており、授業後、家庭で実践することが可能になっている。
議 長	・ 他に質問はあるか。
委 員	・ （質問なし）
議 長	・ それでは技術・家庭の報告は以上とする。 続いて、英語の調査研究結果の報告をお願いする。
専門員 代表	・ 英語の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて6者について報告する。）
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 小学校との学習内容の関係について、各者でどのような工夫がみられるか。
専門員 代表	・ 全者、単元の前に小学校との接続を意識した活動などを設けており、小学校での既習事項を振り返りながら中学校での学習に円滑に接続できるよう工夫している。また、文字学習の入門期には、小学校と同じ書体や、手書きに近い書体を使用し、文字習得に負担がないように考慮している。 東京書籍では、音と文字の関係を扱い、小学校での音を

	中心とした学びから、中学校での読み書きにつなげている。また、小学校での既習事項を使って聞く、話す活動から取り組み、更に、読む、各活動で漆塗りのように何度も触れることで、定着を図っている。 教育出版では、早期段階に小学校での既習事項を扱い、基本的な表現の定着を図っている。また、入門期の単元はマンガ形式の短い会話とし、文字量を減らして読むことの負担感を軽減している。
委 員	・主体的に学習に取り組むことができるような工夫として特徴的なものを何者か教えてほしい。
専門員 代表	・開隆堂は、単元ごとに学習の見通しを立て、自己評価を重ねることで、学習を自己調整しやすい構成になっている。また、各学期末の活動では、自分の発表活動を振り返ることで、主体的に次の活動にむかう態度の育成を図っている。 啓林館は、学習のコツを紹介しているほか、どのコーナーにも目標を掲載し、何ができるようになるかを具体的に設定しており、生徒が見通しをもって学習できるようにしている。
委 員	・異国文化への興味・関心や異国文化理解を深めるために、各者どのような工夫がみられるか。
専門員 代表	・全者、題材や人物の出身地は多様な世界の国・地域から設定しており、外国語や異文化に対する理解を深められるよう工夫している。 東京書籍は、生徒の積極的に世界とつながろうとする心を育む教材を掲載している。各学期末には、カナダからのビデオレターの内容を踏まえ、相手意識をもった発信活動を行うことになっている。 光村図書は、動画で世界の中学生に触れ、リアルな異文化情報を身近に感じられるよう工夫している。また、アメリカの高校生活や海外旅行、世界の様々な英語など、多様な題材を扱い、国際理解を深め、国際協調の精神を養う工夫がある。
議 長	・他に質問はよろしいか。

委 員	・（質問なし）
議 長	・ それでは英語の報告は以上とする。 続いて、道德の調査研究結果の報告をお願いする。
専 門 員 代 表	・ 道德の調査研究結果を報告する。 （報告書に基づいて7者について報告する。）
議 長	・ ただいまの報告について質問はあるか。
委 員	・ 「いじめ問題」や「情報モラル」など、今日的課題に関する教材や題材を取り上げる上で、どのような工夫がみられるか。
専 門 員 代 表	・ 東京書籍では、「いじめ問題」は直接的に扱う3つの教材で1つのセクションとして学び、読み物・イラスト・漫画のようにさまざまな視点の教材を用い、考えを深められるように工夫されている。 教育出版では、「いじめ問題」と「SDGs」については、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットで学び、様々な視点から考えを深められるよう工夫されている。 光村図書では、各課題がユニットのテーマとして重点的に取り上げられ、生徒が自分自身に引き寄せながら興味・関心をもって学べるよう工夫されている。 日本文教出版では、各課題がユニットのテーマとして重点的に取り上げられ、生徒が自分自身に引き寄せながら興味・関心をもって学べるよう工夫されている。 Gakkenでは、「いじめ問題」や「情報モラル」、「防災教育」に関する教材を各学年で掲載したり、複数の教材を連続して学ぶユニットで構成したりして、深く学べるようになっている。 あかつき教育図書では、「いじめ問題」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」について、学年を通して重点的に学習できるようにユニット化され、学びが深まるよう工夫されている。 日本教科書では、「情報モラル」「いじめ問題」「人権・福祉・ジェンダー」などを取り上げ、特に「いじめ問題」は直接的・間接的ないじめについて取り扱い、学校生活の

	場面から自分事として捉えられるよう工夫されている。
委 員	・ 授業で扱うデジタルコンテンツが増えることに伴って、生徒の「考え、議論する道徳」の時間が短くなってしまうことが危惧されるが、どのように考えるか。
専 門 員 代 表	・ 授業で扱っている教材について、興味・関心をもって調べたいという欲求が出てきたとき、生徒は主体的に学んでいく。自分自身がデジタルコンテンツを拝見した際に、時間を忘れるほどのめり込んだ。そのため、生徒にとっても興味・関心を引くようなコンテンツになっていると思う。
議 長	・ 他に質問はよろしいか。
委 員	・ （質問なし）
議 長	・ それでは道徳の報告は以上とする。 以上で専門員による研究結果の報告及び質疑を終了する。 ここで休憩とする。 なお、午後は研究結果を踏まえた教科書の選定協議を行う。委員は、既に十分な教科書研究をされていることと思うが、先ほどの専門員研究報告も踏まえ、再度教科書を確認の上、協議に臨んでいただきたい。

(休憩)

(4) 協議

議 長	・ それでは、協議を再開する。 これより教科書の選定に係る協議に移る。 これまで、委員の皆様もそれぞれ教科書研究を進められてきたことと思うが、それに加え、保護者や学校、専門員の研究報告など諸々の調査結果を踏まえ、本採択地区の教科書を選定する。 協議の流れとしては、はじめに一人ずつ、どの教科書がよいのか意見を述べ、そこで挙げられた教科書を中心にさらに協議を深め、選定していく形をとりたいと思うがいかがか。
委 員	・ 異議なし。
議 長	・ はじめに国語の選定協議を行う。意見をお願いします。
委 員	・ 三省堂の「学び方」が分かるように、教材ごとに「学びの道しるべ」や「読み方を学ぼう」が掲載され、見通しをもって学習できるところがよい。
委 員	・ 教育出版では、学習の重点や内容の観点を把握できる「学びナビ」を設け、主体的に学習に関わるかまえを作り、読みを深める工夫があった。
委 員	・ おっしゃるとおり、学習を見通すことで主体性が生まれ、基礎的・基本的な内容が理解しやすくなると思う。
委 員	・ 学習を見通す点でいうと、東京書籍では教材ごとの「てびき」のページ以外にも、各教材の冒頭に、キャラクターによる生徒目線の「問いかけ」が提示されていて、見通しをもった主体的な学びにつながる工夫もある。
委 員	・ 光村図書は、「学びへの扉」や「学びのカギ」など、資質・能力を使って課題を解決し、次の学びに生かすプロセスを繰り返すことで、実生活に役立つ課題解決能力につなげていく構成がよい。
議 長	・ どの教科書にもデジタルコンテンツが含まれているが、光村図書では、個々の興味や課題に応じて選択し、活用できるデジタルコンテンツが数多く収録されている。他

	はいかがか。
委 員	・ 特に光村図書の「書くことのミニレッスン」では、デジタル端末上で回答できる練習問題があり、短時間で教材のポイントの定着を図るところがよい。
委 員	・ 三省堂は、QRコードの参照先のサイトでは、「動画・音声」「デジタルドリル」など、500点以上のデジタルコンテンツが豊富にある点が魅力的である。
委 員	・ 他にも三省堂では、「参考資料」として、デジタルテキストやワークシート、作文例など、生徒だけでなく、指導者にとっても非常に使いやすそうである。
委 員	・ 光村図書では、各学年末に「国語の力試し」を設け、全国及び埼玉県学力・学習状況調査で活用されているCBTの出題形式を実施できる工夫もあった。
議 長	・ 意見をまとめると、光村図書と三省堂を推す意見が多く上げられているが、この2者に絞って協議してよろしいか。
委 員	・ 異議なし
委 員	・ 光村図書の各学年の巻末には、「語彙ブック」が掲載され、生徒が語彙を広げ、語感を磨くことができるようになっている。ブックインブック形式で、すぐに開き、いつでも使えるように工夫されていてよい。
委 員	・ 思考を支える語彙力の育成は、国語科で重要。その点三省堂は、「語彙を豊かに」や「語彙の広がり」で、様々な語句を身に付け、語感を磨いたり、語彙を増やしたりできるように工夫している。
委 員	・ 光村図書は、SDGsを題材に、3年間を通して情報活用能力を養う「情報×SDGs」を配置している。社会へと視野を広げ、生徒の実生活や将来に生きる情報を活用する方法を学べるものである。

委 員	・ 光村図書の３年生の教科書「つながる古典」や「古典名作選」では、高校で学習する内容の一部を紹介し、既習の古典の内容との関わりを示すことで、中・高間についても円滑に接続できる。
議 長	・ どの教科書もよさがあるが、伺っていると光村図書の教科書を推す意見が多く上げられていたと思う。特に異議がなければ光村図書を選定するという事で、いかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは、国語は光村図書を選定する。
議 長	・ 次に、書写の選定協議を行う。意見をお願いします。
委 員	・ 書写の学習でも、見通しをもって学習に入ること、効率よく基礎・基本の定着を図ることができる。教育出版は、学習の見通しをもって主体的に学ぶことができるように「学習の進め方」が掲載されている。
委 員	・ さらに、１時間の授業展開を短い動画で見られるように工夫されていた点もよい。
委 員	・ 東京書籍は、学習のポイントを焦点化した「書写のかぎ」が掲載されており、効果的・効率的に学習を進めながら、基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。
委 員	・ 光村図書も、学習のポイントを示した「学びのかぎ」が掲載されており、文字の原理・原則を確認することに役立てることができる。
委 員	・ 三省堂は、学習のポイントを明確に表した「書き方を学ぼう」が掲載され、具体的な字形例とともに１０種類示しているところに特徴がある。
委 員	・ 他の文字にも応用できることを知ること、書写以外の各活動でも活用できそうである。

委 員	・ 基礎・基本の定着という面では、光村図書には、巻頭に「中学書写スタートブック」がある。生徒だけでなく、指導者にとっても扱いやすい内容であると感じた。
委 員	・ 光村図書は、「書写ブック」もあって、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題が設定されており、多くの練習に取り組みながら確実に知識・技能が定着できるものだと思う。
議 長	・ どの教科書もそれぞれよさがあるが、伺っていると光村図書の教科書を推す意見が多く上げられていたと思う。特に異議がなければ光村図書を選定するというところで、いかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは、書写は光村図書を選定する。
議 長	・ 次に、社会（地理的分野）の選定協議を行う。意見をお願いする。
委 員	・ 東京書籍では、持続可能な社会の実現に向けて、「未来にアクセス」を新設し、日本や世界の各地域の取り組みを掲載することで、地球規模の課題として捉えることができるよう工夫されている。
委 員	・ 東京書籍は、その点について持続可能な社会の実現や現代的な諸課題について、5つのテーマを設定し、3分野を通して、主体的に解決していく態度を育成している。
委 員	・ 確かに、東京書籍は生徒が学習を進めていくときに同じテーマが設定されていることで、3分野の垣根を越えて広く「見方・考え方」を鍛えていくためにも有効的である。
委 員	・ 他の出版者についてもSDGsを取り上げている。帝国書院では、特に防災についての資料が充実し、自分たちの住む地域に必要な備えについて考えられるように工夫されている。

委 員	・ 教育出版は、身近な地域を調査するための手引きが示され、調査のための資料の読み取り方も丁寧に学習できそうである。また、地域の伝統文化の事例なども掲載され、身近な地域に対する理解が深まりそうである。
委 員	・ 帝国書院では、「地域の特色」に注目している。地域による暮らしの違いや、地域の特徴などを特色のある事象と結びつけることで、着実な理解につなげられるように工夫している。
委 員	・ 世界や日本の「地域の特色」で言えば、東京書籍は、現地の中学生が自分の暮らす地域について語る「聞かせて！中学生」で、世界の暮らしを身近に感じられるように工夫されている。
議 長	・ 日本文教出版については、いかがか。
委 員	・ 日本文教出版は、地理+αがとてもよい。現代的な諸課題や世間の関心ごとについて、生徒が興味をもって学習できそうなトピックを豊富に掲載していて、生徒の関心を高められそうである。
委 員	・ 他にも日本文教出版は、教科書の冒頭の地理的な見方・考え方を働かせる練習ページがあるのも、学習の見通しが持ててよい。
議 長	・ その他にはいかがか。
委 員	・ 東京書籍は節のまとめで「見方・考え方」を働かせて自分の言葉でまとめるコーナーがある。表や図、思考ツールでまとめるなど、まとめ方にも工夫がみられる。
委 員	・ 帝国書院でも、冒頭で「見方・考え方」の説明をしたり、見方・考え方アイコンを作ったりして考察する視点が明確になるように工夫されている。
議 長	・ 見方・考え方という点はこれまでも多く意見が出ている。他の視点ではいかがか。

- | | |
|-----|--|
| 委 員 | ・ 帝国書院は「技能をみがく」を設置して写真や地図、グラフを読み取る技能が着実に身に付けられるように工夫されている。 |
| 委 員 | ・ どの教科書も分野間での連携に力を入れている印象がある。その中でも帝国書院では、小学校とのつながりや地図帳、他教科との連携も図られるように工夫されている。 |
| 議 長 | ・ 確かに。カリキュラム・マネジメントの視点を持っていることは大切なことである。では、デジタルコンテンツについてはいかがか。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は章ごとにデジタルコンテンツが整理されているとともに、活用するタイミングでQRコードが設置されていることで、誰にでも活用しやすいコンテンツになっている。 |
| 委 員 | ・ 日本文教出版のデジタルコンテンツには、ポートフォリオがあり、学習を記録しておくことで、家庭学習にも生かせそうである。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は、QRコードについて、定位置に配置することによって一人一人にとって学びやすくなるように配慮されている。 |
| 議 長 | ・ どの教科書もそれぞれよさがあるが、伺っていると東京書籍の教科書を推す意見が多く上げられていたと思う。特に異議がなければ東京書籍を選定するということで、いかがか。 |
| 委 員 | ・ 異議なし |
| 議 長 | ・ それでは、社会（地理的分野）は東京書籍を選定する。 |
| 議 長 | ・ 次に、社会（歴史的分野）の選定協議を行う。意見をお願いする。 |

委 員	・ 東京書籍は、各単元の学習について単元を貫く問いの「探究課題」、節の問い「探究のステップ」、1 単位時間の「学習課題」が設定され、段階を踏んで探究課題を迫及できる構成になっている。
委 員	・ 育鵬社も、章・節などのページの冒頭に問いや学習課題を設定し、生徒が見通しをもって課題解決ができるよう工夫されている。
議 長	・ 確かに学習指導要領では、学習内容と学習過程の構造化が大切にされている。帝国書院も構造化を図っているが、章の導入にある「タイムトラベル」がよい。導入の工夫について他にいかがか。
委 員	・ 東京書籍では、各章の導入ページが資料の読み取りとともに、小学校とのつながりやグループ活動、キャラクター年表等、ページが構造化されているため、スムーズに学習に入っていくことができそうである。
委 員	・ 教育出版は、人々の暮らしの様子が分かる資料が中心となっている。前の章と比べる「時代の変化に注目」が設定されており、資料と前の時代を結び付けられるのがとてもよい。
議 長	・ それでは、文化史についてはどうか。帝国書院では、政治史だけではなく、文化史についても多く取り上げ、本文やタイトルから文化の主な特色を示し、文化への関心を高められるように工夫されている。
委 員	・ 東京書籍でも文化史を多く取り上げ、「もっと知りたい」では、神話やアイヌ文化など現代に受け継がれる文化について扱っていて、伝統や文化についての理解を深めることができそうである。
議 長	・ 東京書籍と帝国書院についての意見が出ているが、他はいかがか。
委 員	・ 高校への接続に関して、山川出版社の「歴史を考えよう」では、美術作品や史料等、高校で扱う歴史的史料を多く

	取り上げ、中高へのスムーズな接続を図っている。
委 員	・ 令和書籍では、巻末に「日本美術館」という特設コーナーがあり、美術作品等について時代ごとにまとめられ、作品の説明や作品が見られる場所が示されているので、文化への理解が深められそうである。
委 員	・ 自由社は、古代の天皇家に関する家系図にイラストを活用するなど工夫されている。
議 長	・ その他の面に関してはどうか。
委 員	・ 日本文教出版は、「身近な地域の歴史探究」で、身近な地域の歴史を調べ、考察する過程について、事例を挙げながら丁寧に説明し、地域を調べることで、身近な地域の歴史に対して関心を高めることができそうである。
委 員	・ 帝国書院は、「歴史を探ろう」を設定して当時の社会を地域の視点から見えていくことで、歴史を多面的に捉えられるように工夫している。
議 長	・ 東京書籍と帝国書院を推す意見が多く上げられているが、この2者に絞って協議してよろしいか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ では、東京書籍と帝国書院について、意見を願います。
委 員	・ 帝国書院についてQRコンテンツの「世界とのつながりを考えよう」は、解説だけではなくデジタルの良さを生かし、拡大機能を使って、細部まで探究できるところが良い。
委 員	・ 東京書籍の「導入クリップ」もよい。小学校の学習をクイズ形式で確認できたり、動画で小学校の内容からこれからの内容につなげられたりするように工夫されている。
委 員	・ 東京書籍は、章の最後の「まとめの活動」で、多様な思

	考ツールを用いた学習活動が設定されていて、QRコンテンツと関連させると、生徒が思考を整理し、自分の考えを表現していく時にとっても有効である。
委 員	・ 帝国書院の「これからの社会を構想しよう」は、これまでの学習を「現在」、「SDGs」につなげていて、よりよい社会の実現に向けて、参画意識を育むことができそうである。
委 員	・ 東京書籍は、分野や教科を超えた「これからの社会」について考え、3分野の連携を掲げている。地理が東京書籍になっていることを考えると分野間の連携の面で、東京書籍がスムーズである。
議 長	・ 意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは社会（歴史的分野）は、東京書籍を選定する。
議 長	・ 次に、社会（公民的分野）の選定協議を行う。意見をお願いする。
委 員	・ 私は、東京書籍のよい点として「18歳へのステップ」が挙げられると思う。3年後に着目して、憲法や政治、経済をとらえていて、主権者となる生徒にとって大切な内容だと思う。
委 員	・ 東京書籍は、18歳でできること20歳でできることの違いも示されていて、知識が深まりそうである。
委 員	・ 帝国書院でも、「18歳への準備」があり、メディアリテラシーや契約、金融など18歳に向けて身に付けておきたい知識が得られそうである。
委 員	・ 主権者教育という面では日本文教出版は「明日に向かって」があり、地域、消費者、キャリア、法教育などたくさ

	んのテーマから、主権者として社会で自立する力を身に付けられるように工夫されている。
委 員	・ 自由社では、「やってみよう」のコーナーを設け、単元で学んだことに関連した内容について自分で考える学習活動により、社会に参画する意識を育てる工夫がみられる。
委 員	・ 社会参画については、教育出版でも、SDGsの目標を達成するために何ができるかを考え、持続可能な社会に向けた意識をもって学習をすすめられそうである。
委 員	・ 帝国書院では、「環境、エネルギー」、「人権・多文化」等6つのテーマに合わせてコラムや特設ページで「未来に向けて」を設定し、持続可能な社会の実現に向けた意識を育んでいる。
委 員	・ 東京書籍でも、教科書全体を5つのテーマにわけ、持続可能な社会を中心に現代的な諸課題を意識して学習できるように工夫されている。
議 長	・ 確かに。現代的な課題について各者で工夫されている。他、いかがか。
委 員	・ 育鵬社では、両論が併記されており様々な問題について多面的、多角的に理解できるように工夫されている。学習内容と生活をつなげられるような教材を充実させているのも特徴の一つである。
委 員	・ 「アクティブ公民」を帝国書院は設置し、社会参画を疑似体験できる学習展開にしている、実感を伴った学習にできるように工夫されている。
委 員	・ 東京書籍では、「多様な思考ツール」が設定されており、QRコンテンツのツールも活用することで、自分の考えを自分にあったまとめ方で整理できる。
委 員	・ 帝国書院では各章で見開きの導入を設定しており、大判のイラストから、単元への興味関心を喚起し、章の問いへとスムーズにつなげていくことができる。

議 長	・ 帝国書院と東京書籍を推す意見が多く上げられているが、2者に絞って協議してよろしいか。
委 員	・ 意義なし
委 員	・ 東京書籍は「みんなでチャレンジ」が設定されており、生徒が対話をする場面を豊富に設定し、互いの意見を聞き合うことで、主体的に学習に取り組み、深い学びへとつながっている。
委 員	・ 帝国出版は地図帳活用のアイコンを設置し、効果的に地図帳を活用させることで、学習をより深められるようにしている。
委 員	・ 東京書籍では、小学校やスキルアップで身に付けた知識や技能を活用して、考えたり読み取ったりする活動を行うコーナーで、知識や技能の定着を図るとともに、深い学びにつながられるようにしている。
委 員	・ 東京書籍は導入のページで単元のゴールを提示するコーナーを設置している。それに向けて、各節での問いも示されており、まとめの活動に向けて見通しをもって、主体的に取り組めるように工夫されている。
議 長	・ 皆さんの意見を伺っていると東京書籍の教科書を推す意見が多く挙げられていた。特に異議がなければ東京書籍を選定するというものでいかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは社会（公民的分野）は東京書籍を選定する。
議 長	・ 次に、社会（地図）の選定協議を行う。意見をお願いする。
委 員	・ 帝国書院は地図大判の紙面を生かして鳥瞰図を設置しており、各州の地形だけではなく、生活、文化等の特色ま

	で視覚的に読み取れるように工夫されている。
委 員	・ 東京書籍は、教科書を拡大したことにより、従来の教科書よりも広範囲の地図を見渡せるようになったり、大きさを生かした資料が載せられたりしている。
委 員	・ 帝国書院は、歴史アイコンや公民アイコンがあり、地図の中に歴史上の出来事や史跡等も示されており、他分野や修学旅行、校外学習でも広く活用ができそうだ。
委 員	・ 確かに、様々な授業でも地図に親しむことは大切である。帝国書院は、地図帳の使い方でも、小学校で学習した約束から順に丁寧の説明し、QRコンテンツを使った解説もあり、地図の活用が促進されそうである。
委 員	・ 帝国書院についてよいという意見が多く出ているが、東京書籍についていかがか。
委 員	・ 東京書籍の地図も、B e e ' s e y e のコーナーで、地図を深く読み取るための問いが見開きに1問以上あり、地図の活用能力や、思考力が高められるように工夫がされている。
委 員	・ 帝国書院も要所に「地図で発見」のコーナーが設けられており、問いを追求することで、見方・考え方も働かせることができる。
委 員	・ QRコンテンツを見てみると、東京書籍、帝国書院ともに充実していて、生徒の主体的な学びを助ける工夫が、個別最適な学びにつながりそうである。
議 長	・ 帝国書院の教科書を推す意見が多く挙げられていた。特に異議がなければ帝国書院を選定するということではいかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは、社会（地図）は帝国書院を選定する。

議 長	・ 次に、数学の選定協議を行う。意見を願います。
委 員	・ どの教科書も、数学的に考える資質・能力の育成に向け、数学的活動の充実や主体的な学習活動を促す工夫がみられる。特に東京書籍の各単元の導入は、日常生活の具体的な場面が多く取り上げられていてよい。
委 員	・ 確かに、東京書籍の導入部分は、ゆとりある紙面構成である。問題場面や課題が明確になっていて、生徒が学習活動に入りやすそうである。
委 員	・ 大日本図書や日本文教出版については、課題やめあてが具体的に示されていてよい。また、学校図書や数研出版の教科書は、キャラクター同士の対話が、生徒の思考を促し、生徒の対話的な学びに繋がるのではないかな。
委 員	・ 東京書籍や教育出版、日本文教出版では、章や節ごとに、まとめや振り返り、「見方・考え方」がきちんと示されていてよい。また、啓林館は章末問題などが充実している。
議 長	・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実という観点では、意見はいかがかな。
委 員	・ どの教科書にもQRコードが随所に配置されている。資料や適用問題などの情報を得ることができて、個々の学びを深めたり、協働的な学びを行ったり深めたりすることができるようになっている。特に東京書籍や日本文教出版はQRコードから得られる内容が充実している。
委 員	・ 確かに充実している。協働的な学びという点では、啓林館や日本文教出版も、説明や話し合いを促す場面があってよい。
委 員	・ 大日本図書や啓林館では、問題の発見から解決の過程が示されていて、話し合いながら新たな問題へと発展するような工夫がされている。
委 員	・ 東京書籍や教育出版では、数学的活動が充実しているの

	もよい。数学的活動をとおして、数学の必要性や有用性が感じられるのではないか。
議 長	・ 全体を通して、東京書籍と日本文教出版、啓林館を推す意見が多くあげられたが、この３者に絞って協議をしたいと思うが、いかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ では、東京書籍と日本文教出版、啓林館について、さらに意見をお願いします。
委 員	・ 東京書籍の、「深い学び」のページが、数学的に考える「資質・能力」の育成に効果的だと思う。考え方などが次のページになっているレイアウトも工夫されており、対話から学びを深める授業展開ができるように配慮されている。
委 員	・ 表現力の育成という点では、日本文教出版の巻末に付属している「振り返りシート」や「対話シート」は使いやすいそうである。また、東京書籍の章末にある「振り返りレポート」で、自分の学びやできるようになったことを振り返るのもとても大切だと思う。
委 員	・ 振り返りで、自分が働かせた「見方・考え方」を明らかにすることが、次の学びにつながる。
委 員	・ 啓林館には、ほぼすべての単元に「～の利用」という小単元が設定されている。学んだことを日常生活でどのように活用できるかという、問題発見や問題解決のサイクルが大切にされているところがよい。
議 長	・ 教科書の見やすさや使いやすさという観点で、意見はあるか。
委 員	・ ３者ともに、落ち着いた字体や色使いとなっている。東京書籍、啓林館の教科書では、写真やイラストが効果的に用いられていて、興味・関心を高められるように工夫されている。

- | | |
|-----|--|
| 委 員 | ・ 東京書籍は、デジタルコンテンツが充実しているので、個に応じた使いやすさ、学びやすさがある。 |
| 議 長 | ・ こうして3者を見ていくと、全体的に、東京書籍の教科書は、学習の流れが丁寧に示されていて、充実した学習活動が展開できるような印象を受ける。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は、子供たちの協働的な学びや個別最適な学びに幅広く対応している。また、先生方の授業づくりの視点でも、有効に活用できる。 |
| 議 長 | ・ 意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。 |
| 委 員 | ・ 意義なし |
| 議 長 | ・ では、数学は東京書籍を選定する。 |
| 議 長 | ・ 次に、理科の選定協議を行う。意見をお願いします。 |
| 委 員 | ・ 教育出版の教科書が、QRコンテンツ「まなびリンク」でWeb図鑑や動画等の多様な資料が用意されているだけでなく、生徒の状況に応じて最適なコンテンツも提示できるのでよい。個別の学びを重視した構成になっている。大日本図書、東京書籍、学校図書、啓林館の教科書も、それぞれQRコンテンツが用意されており、学習をサポートしてくれる教科書である。 |
| 委 員 | ・ 確かに教育出版の教科書は、各単元のポイントごとにQRコードがページ番号の横に配置されていて、わかりやすい。他に、東京書籍の導入の見開き2ページのダイナミックな写真に各章で考えていくことがまとめてあり、生徒の学習意欲を喚起している。 |
| 委 員 | ・ QRコンテンツという意味では、学校図書の教科書は、「6か国語切り替え」や「総ルビ・分かち書き」表示がQRコードから接続できるようになっている。また、生 |

	徒の多様な読み方に対応していたり「チャットボット」が搭載され、生徒が学習内容を質問できたりと個に応じた支援が充実している点がよい。
委 員	・基礎基本の定着や応用という意味で、啓林館の教科書が「例題」や「練習」や「学習のまとめ」「力だめし」があり、充実している。教育出版は5段階のステップで繰り返しの学習と振り返りができるようになっていてよい。
委 員	・しかも教育出版の「要点と重要用語の整理」が、まとまっていて苦手意識を持つ生徒には分かりやすいのではないかと感じた。東京書籍も重要語句を一問一答形式で確認でき、基本事項を確認しやすいつくりになっている。
委 員	・出題の仕方としては、大日本図書では単元末に「読解力問題」が、学校図書では「実際の問い」をもとに、思考を深める工夫がされている。
議 長	・見通しや振り返りの点で、各者工夫がみられる。それでは、「学びに向かう力」の育成という点では、各者どのような工夫がみられるか。
委 員	・啓林館の「探Qシート」は、写真やイラスト付きの書き込みシートになっており、活動が明確なので、生徒は進んで予想や結果を書けそうである。また、裏面には学びを振り返り自分の言葉で表現できるような工夫もされている。
委 員	・東京書籍の「ビフォー アンド アフター」が生徒にできるようになったことを振り返らせることで、次の学びに向かわせる役割を果たしている。また、豊富なQRコンテンツも、理科が苦手な生徒の学びを後押ししてくれている。
委 員	・教育出版が、埼玉県に関係する写真や図等の資料が取り上げられているという点でよい。自分たちの身近な場所が資料として取り上げられていることで理科への興味・関心を高める生徒もいるだろうし、教科書がその機会となると素晴らしい。

- | | |
|-----|---|
| 議 長 | ・ 意見をまとめると、東京書籍と教育出版を推す意見が多くあげられているが、この2者に絞って協議をしてよろしいか。 |
| 委 員 | ・ 異議なし |
| 議 長 | ・ では、東京書籍と教育出版について、さらに意見を願います。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍は、生徒一人一人が考えを深められるよう、どの学年でも「じっくり探究」を設けたり、対話場面を多く掲載したりして、協働的かつ主体的な学びを重視している。 |
| 委 員 | ・ 教育出版も、「探究の進め方」が折り込みに設けられている。本文を開いた状態でも探究の過程が確認できるため、探究的な学習に自主的・自律的に取り組ませようという意図が伺える。「科学的に探究する力」を重点的に育成できるよう配慮されている。 |
| 委 員 | ・ 教育出版は、「疑問から探究してみよう」をもとに、生徒が考え、話し合う場面が設けられている。主体的・対話的な活動を大切にすることで、自身の考えを深めようとする意図が伝わる。 |
| 議 長 | ・ 2者ともに生徒の「科学的に探究する力」の育成に向けて、工夫がみられるが、最後に実験や観察の際の注意事項についてはどうか。 |
| 委 員 | ・ 2者ともに巻末で、具体的場面を用いて丁寧に説明している。東京書籍は、安全のための注意事項をマークにしたり、朱書きで示したり、アイコンを付して視覚的に認識しやすくしているところが工夫されている。 |
| 委 員 | ・ 教育出版も、安全のための注意事項をマークにしたり、朱書きで示したりしているところが工夫されている。さらに注意事項や禁止事項を黄色や赤色のマークにすることで、教科書を開いた瞬間に把握できるところが工夫さ |

	れている。
委 員	・ 教育出版は、実験後の薬品や金属の扱いもイラストで示しているなので、片付けも安心して行えるのではないかと 思う。
議 長	・ どの教科書もそれぞれよさはあるが、意見をまとめると、 教育出版の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
委 員	・ 意義なし
議 長	・ それでは、（理科）は教育出版を選定する。
議 長	・ 次に、音楽（一般）の選定協議を行う。意見をお願いす る。
委 員	・ 教育芸術社は、「学びのコンパス」が特徴的である。学び の手順や工夫の視点が具体的に示されていたり、イラスト や吹き出しで考えるポイントが効果的に提示されたり している点がよい。
委 員	・ 教育出版の「学習MAP」がよい。歌唱・鑑賞・創作の各 領域の学習内容とその計画、学習の進め方がわかりやす く示されていて、見通しをもって学習に取り組めるよう に配慮されている。
委 員	・ 創作教材では、教育芸術社の教科書は、グループ活動の 中で協働しながら学習を進められるように工夫されてい て、学びを深めることができる。
議 長	・ 対話的な活動の面では、教育出版は、自分の考えなど、 交流を通して深めることができる活動が配置されてい る。その他にいかがか。
委 員	・ 教育出版は鑑賞教材の特徴を国や地域、表現の仕方で比 べることで、より深い理解を促すよさがある。
委 員	・ 伝統文化については両者ともに豊富に民謡や芸能を扱っ

	ているが、教育芸術社は伝統文化に関する資料が充実している。
議 長	鑑賞教材という点では、教育芸術社が例示を多く掲載している。現代の音楽文化、これからの社会や生活と音楽とのつながりに関してはいかがか。
委 員	どちらも音楽文化の変化について魅力的に掲載している。教育芸術社は、音楽と仕事、SDGsとの関わりなどを、豊富な写真とあわせて、音楽の幅広い知識を得られるように工夫されている。
委 員	他にも教育芸術社は、歌唱や鑑賞だけでなく、生徒に音楽そのものを考えさせるような工夫がある。
議 長	皆さんの意見を伺うと教育芸術社に関する意見が多く上がっているが、他いかがか。
委 員	(特になし)
議 長	では、特に異議がなければ、教育芸術社を選定するということでいかがか。
委 員	異議なし
議 長	それでは、音楽（一般）は教育芸術社を選定する。
議 長	次に、音楽（器楽合奏）の選定協議を行う。意見をお願いします。
委 員	教育芸術社の教科書は、生徒が課題意識をもって活動できるよう、具体的な手順がイラストや吹き出しで示されており、取り組みやすい。
委 員	教育芸術社は、初歩的な課題が提示され、無理なく取り組めるように配慮されている。リコーダーの楽曲では、レッスン1から4までのステップがあり、苦手な生徒でも取り組みやすい。

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | ・ 教育芸術社は、奏法の種類や特に打楽器の扱いが多岐にわたっていて、授業者の選択肢が広がる点でよい。 |
| 議 長 | ・ 教育芸術社についての意見が多いが、教育出版についてはいかがが。 |
| 委 員 | ・ 教育出版は楽曲の取り扱いが多く、平易なものから発展的なものまで系統的に配置されている。創作教材や調べ学習が充実している点もよい。 |
| 委 員 | ・ 教育出版は先ほどの音楽一般の鑑賞教材同様に、音楽的な見方・考え方を働かせて気付きや理解を促す工夫がみられる。器楽では、各楽器の表現の仕方を比較させることで、学びを深めさせている。 |
| 議 長 | ・ 他にいかがが。 |
| 委 員 | ・ 教育芸術社だが、写真や図版が豊富で、楽器に関する知識を獲得しやすいように工夫されている。 |
| 委 員 | ・ 教育芸術社で、巻末資料の運指表やギターのダイアグラムも見やすい配色を採用していてよい。 |
| 議 長 | ・ 皆さんの意見を伺うと、教育芸術社に関する意見が多く上がっているが、他いかがが。 |
| 委 員 | ・ （特になし） |
| 議 長 | ・ では、教育芸術社の教科書を推す意見が多く挙げられていたので、特に異議がなければ、教育芸術社を選定するという事でいかがが。 |
| 委 員 | ・ 異議なし |
| 議 長 | ・ それでは、音楽（器楽合奏）は教育芸術社を選定する。 |
| 議 長 | ・ 次に、美術の選定協議を行う。意見をお願いする。 |

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | ・ はい。日本文教出版は、白地を基調として余計な装飾を極力控えたデザインとなっている。全体的にすっきりしていてとても見やすい印象を受ける。 |
| 委 員 | ・ 日本文教出版は、教科書にある作品に「造形的な視点」という吹き出しを入れて、その題材で着目させたい共通事項を示している。 |
| 委 員 | ・ 日本文教出版は、QRコンテンツで立体作品を360度鑑賞できるのも面白い。横方向だけではなく、縦方向にも画面を動かせるので、より詳しく鑑賞することができ表現の幅も広がりそうである。 |
| 委 員 | ・ 日本文教出版は、教科書を折って立てることで、実感をもって屏風を鑑賞できるところが面白い。実際の屏風の形にすることで、様々な気付きが促されると思う。 |
| 議 長 | ・ 各者QRコンテンツだけではなく、教科書の質感も工夫されている。光村図書は日本画の題材に和紙を使用している。色彩や触感など、日本画への理解が深まる。 |
| 委 員 | ・ 開隆堂は、表紙の質感が特徴的である。教科書に触れた時に、視覚だけでは伝わらない作品の特徴に気付けるつくりになっている。 |
| 議 長 | ・ 日本文教出版を推す意見が多く挙がっているが、開隆堂や光村図書についての意見は他にいかがか。 |
| 委 員 | ・ 光村図書は、別冊の資料が特徴だと思う。3年間を通して使えるコンパクトな資料があることは、子供が学びを振り返ったり、見通しをもったりしやすいのと同時に、教師も指導に生かしやすいと思う。 |
| 委 員 | ・ 開隆堂は、全ての題材で導入に使える動画資料が用意されているのが便利である。 |
| 委 員 | ・ 開隆堂の「はじめに」の動画資料は一方的な説明ではなく、生徒と教師のやり取りの形になっているため、より |

	内容がわかりやすく伝わる。
委 員	・ その点については日本文教出版もよい。動画に字幕が入っているため、個別に動画を見て学びを深めることにも活用できそうである。
議 長	・ 他にいかがか。
委 員	・ （特になし）
議 長	・ どの教科書もそれぞれのよさがあるが、伺っていると日本文教出版の教科書を推す意見が多く挙げられていたと思う。特にご異議なければ、日本文教出版を選定するという事でいかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは、美術は日本文教出版を選定する。
議 長	・ 次に、保健体育の選定協議を行う。意見をお願いします。
委 員	・ どの教科書も1単位時間の学習の流れが統一されているため、学習の見通しをもって学習に取り組むことができる。
委 員	・ 東京書籍、大修館書店、G a k k e nは、導入の発問でイラストや写真を示していて、興味・関心を高めることができる。
委 員	・ 大日本図書は、本文と資料が明確に区別されているので授業展開を工夫することができる。
委 員	・ 大修館書店、G a k k e nでは各章末にある「章のまとめ」で教科書に直接、記述できるようになっており、東京書籍、大日本図書ではW e b上に設けられている。
委 員	・ 大日本図書は、「まとめの問題」がC B T方式になっているため、効率的に学習することができてよい。

委 員	・ G a k k e nは、学習への取り組み度合いを自己評価する欄を設けており、主体的に学習する態度を振り返ることができるようになっている。
議 長	・ それぞれの教科書に工夫がみられる。他はいかがか。
委 員	・ 大修館書店とG a k k e nは、章の扉が見開きになっており、小中高の系統性を示すだけでなく、学習内容に関係した写真やコラム、キャラクターのコメントが入っていて、学びを広げやすい。
委 員	・ 東京書籍の章の扉では、小学校の振り返りを動画で視聴することができ、章の学習内容に関連した「保健体育の職業」が紹介されていてよい。
委 員	・ 現代的な諸課題の中で、性情報に関連した情報モラルについては、東京書籍、大修館書店、G a k k e nが具体的な事例について考えさせるようになっていてよい。
委 員	・ 大修館書店は、さまざまな性暴力についても触れており、具体的な対処法も記載されている。
議 長	・ 全体を通してみると、委員の皆さんからは、大修館書店とG a k k e nを推す意見が多くあげられたが、この2者に絞って協議をしてよろしいか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ では、大修館書店とG a k k e nについて、さらに意見を願います。
委 員	・ 大修館書店もG a k k e nも、本時で学習することやキーワードが示され、学習内容が一目で分かるようになっている。G a k k e nは「章のまとめ」でも、章で学んだキーワードがチェック欄付きで示されている。
委 員	・ 大修館書店は「章のまとめ」が評価の観点でわけられているので、3つの資質・能力をバランスよく育成するこ

	とができる。
委 員	・ どちらもデジタルコンテンツが充実しているが、G a k k e n の教科書はシミュレーション教材があり、主体的に学びを進めることができる。
議 長	・ 皆さんの意見をまとめると、G a k k e n の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
委 員	・ 意義なし
議 長	・ では、保健体育はG a k k e n を選定する。
議 長	・ 次に、技術・家庭（技術分野）の選定協議を行う。意見をお願いします。
委 員	・ はい。どの教科書も技術の知識や技能を身に付けられるようビジュアル的に工夫されていた。中でも教育図書の「スキルアシスト」は別冊になっており、実習を行うときに使いやすい。
委 員	・ 確かに別冊になっているのは使いやすい。使用場面を考えると各者のQRコードもポイントになると思うが、教育図書のものはQRコードの横に項目が示されている。使い勝手の面でいうと開隆堂は、教科書のページに直接対応したものとなっており、知りたい内容にすぐにアクセスできる。
議 長	・ 確かにそのとおりである。今、技能の面の話が出ているが、その他はいかがか。
委 員	・ はい。技術の授業ではとにかく技能が重視されてきたように思うが、大切なことは身に付けた知識や技能を基に技術による問題解決を経験することだ。その点、東京書籍の教科書は学習の流れが全ページで統一的に示されている。
委 員	・ 開隆堂の教科書では、身の回りの気付きから知識・技能

	を学び、問題解決を行うことで解決例を基に思考力、判断力、表現力が身に付けられるよう工夫されている。
委 員	・ 開隆堂では学習の最終段階で技術の可能性と課題について整理され、これからの技術とその活用について考えさせるよう工夫されている。
議 長	・ 開隆堂についてよい、という意見が多く出ているように思うが、他はいかがか。
委 員	・ はい。東京書籍の教科書は問題解決の道筋が分かりやすいデザインになっている。
委 員	・ 教育図書は安全面のページが特出しされたり、安全マークが付されたりして安全に実習ができるように配慮されている。
委 員	・ 他の、というところではあるが、開隆堂は問題解決の流れが見開きで表記されている。他にも豊富な実習例が掲載されており、地域や学校の実態に応じて選択しながら使用できるのがよい。
委 員	・ 私もそれはよいと思った。ガイダンスにおいて漫画形式で問題解決の流れが示されているのも、先生にとっても生徒にとっても使いやすいのではないだろうか。
議 長	・ 皆さんの意見を伺っていると、開隆堂の教科書を推す意見が多く挙げられていたと思う。特に異議がなければ、開隆堂を選定するということではいかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは、技術・家庭（技術分野）は開隆堂を選定する。
議 長	・ 次に、技術・家庭（家庭分野）の選定協議を行う。意見を願います。
委 員	・ はい。先ほどの技術分野と同様にQRコードの使い勝手

	の面では開隆堂が使いやすいそうである。調理の基礎、製作の基礎・基本など簡潔にまとめて示されているのも使いやすいと感じた。
委 員	・東京書籍は「いつも確かめよう」というコーナーで基礎的な技能についてまとめて示している。
委 員	・私は「生活の課題と実践」の扱いについて注目した。各者とも巻末において各学校の実態に応じて選択して履修できるよう配慮されている。
委 員	・開隆堂は一人一人が課題を見付け、実践し、振り返るまでの取組を実際に中学生が取り組んだ事例を基に掲載している。他にも中学生が主役の資料が多く掲載されており、課題を身近に感じやすい。
委 員	・家庭分野でも身近な生活から課題発見をすることが必要だ。教育図書はその点でどの内容においても「見つめる」を通して自分ごととして捉えられるような内容の導入から始まっているのがよい。
委 員	・持続可能な社会の創り手になるためにも、責任ある行動がとれる生活者の育成は必要だ。その点で、東京書籍と開隆堂は各編の最後に持続可能な社会づくりに向けた章を位置付けている点がよい。
委 員	・その他にも開隆堂は、先ほどの専門員の報告でもあったが、ガイダンスの内容が充実しており、家庭科の学習の見通しを持ちながら、各領域の内容をつなぐ構成になっているのも先生や生徒にとって使いやすい。
委 員	・教育図書は社会の状況に合わせて重視されている消費者教育についてかなり多くのページを割いて解説している。消費者被害や消費者の権利と責任についてイラストや図を基に分かりやすく解説しているのもよい。
委 員	・開隆堂は数多くの題材や具体的な課題や事例が掲載されている。豊富な製作例や活動例が示されていることで、生徒の実態や地域の実態に応じて選択しながら実践的な

	活動につなげていくことができるのではないか。
議 長	・ 皆さんの意見を伺うと、開隆堂に関する意見が多く上がっているが、他はいかがか。
委 員	・ （特になし）
議 長	・ では、開隆堂の教科書を推す意見が多く挙げられていたと思うので、特に異議がなければ、開隆堂を選定することとていかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ それでは、技術・家庭（家庭分野）は開隆堂を選定する。
議 長	・ 次に、英語の選定協議を行う。意見をお願いする。
委 員	・ どの教科書も「扉」には、単元のゴールを示しており、何ができるようになるかということを生徒に意識させるよう工夫されている。東京書籍や三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の教科書は、単元のゴールをキャンドウリスト形式で示しており、具体的で分かりやすい。
委 員	・ 各者、単元末に自己評価できるチェック欄等も設けられていて、自ら学びを振り返ることができるようになっている。東京書籍や開隆堂、三省堂、光村図書、啓林館は巻末にキャンドウリスト表を掲載し、年間を通して、学びを何度も振り返ることができるようになっていた。
議 長	・ 実践的なコミュニケーション能力を高めるための工夫として、委員のみなさんの意見はいかがか。
委 員	・ 言語活動においては、ただ単にやり取りするだけでなく、コミュニケーションを図る目的や場面、状況に応じて言語活動を行うことが大切である。東京書籍や光村図書では、明示的に目的、場面、状況を記載し、コミュニケーションの質を高めるよう工夫されている。

委 員	・ 開隆堂では、簡単な表現の言い換えや発表のコツなど、「話すこと」のスキルを身に付けることができる。
委 員	・ 三省堂のプロジェクト型の教材もよい。日常的な話題について、自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話す力を身に付けることができる。開隆堂や教育出版、啓林館も同様に、プロジェクト型で設定された場面において、コミュニケーション力を高める工夫がされている。
委 員	・ 東京書籍や光村図書においても、話したり書いたり様々な技能を統合的に活用して取り組む課題が用意されている。
委 員	・ 東京書籍の教科書では、実生活に即した内容に基づいたコミュニケーション活動の場面設定がされており、実践的なコミュニケーション力の育成につながる。光村図書の教科書では、身近なことについて既習表現や語彙を使ったペア活動を通して即興力の育成を図る工夫が見られた。
議 長	・ 全体を通して、委員の皆さんからは、東京書籍と光村図書を推す意見が多くあげられたが、この2者に絞って協議をしたいと思うがいかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ では、東京書籍と光村図書について、さらに意見をお願いする。
委 員	・ 東京書籍のデジタルコンテンツの工夫がとてもよい。事前にデジタルコンテンツの確認をしたが、生徒が一人一台端末を活用して、スピードや再生方法を変えて音声を聞くことができたり、キーセンテンスの解説動画を視聴できたりする。生徒自らが学び方を選択し、個の実態に応じて学びを進めることができる。
委 員	・ 光村図書でも、本文の音声の速度調整機能やハイライト機能に加え、ふりがな表示機能も搭載しており、特別な

	支援を要する生徒向けに工夫されている。東京書籍は、マスク表示やスラッシュ機能、リピート機能等多くの機能を搭載しており、より個に応じた活用が可能な印象がある。
議 長	・ 小学校からの接続という観点で、何か意見はあるか。
委 員	・ どちらの教科書も、小学校と同じように、コミュニケーション活動から入って、徐々に文字と一致させていくという流れなど、充実している。
委 員	・ 東京書籍の教科書では、小学校で学習した単語等に小学校マークがつけられていることが、生徒が安心して学べるのではないか。また、小学校で学んだことを中学校の先生方が一目で分かるのもよい。
委 員	・ この第四採択地区では、小学校においては東京書籍の「ニューホライズン エレメンタリー」を使用している。小学校の教科書と共通した構成や表現、文字、話題、イラストが使用されていて、よりスムーズな小中接続が図れるのではないか。
委 員	・ 私も同感である。小学校と同じ発行者の教科書ということで、より小中の接続がしやすいのではないか。
議 長	・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
委 員	・ 異議なし
議 長	・ では、英語は東京書籍を選定する。
議 長	・ 次に、道徳の選定協議を行う。意見を願います。
委 員	・ 日本文教出版では、各教材の冒頭に「学びのキーワード」を明示して、生徒が道徳的価値について考えることができる工夫がされている。

委 員	・ G a k k e n は、教材末尾の「深めよう」で対話的な活動を通して、より深く道徳性を身に付けられるよう工夫されている。
委 員	・ デジタルコンテンツの点でいうと光村図書や教育出版は、QRコードを読み取って「動画」などを視聴できるところがよい。
委 員	・ あかつき教育図書は、文部科学省のサイトにリンクが貼ってあったり、東京書籍は、朗読音声やワークシートが収められていたり、日本教科書は、様々な動画や画像を見ることができるようになっている。
委 員	・ どの教科用図書も、QRコードを掲載しているが、特に東京書籍や教育出版、日本文教出版が数多く掲載している。
議 長	・ 道徳というと、自分の考えをしっかりとって相手に伝えたり、友達の意見を聞いて、多面的・多角的に考えたりすることが大切になると思うが、その点各者の工夫はあるか。
委 員	・ 東京書籍は、ソーシャルスキルコラムや体験的な学習を通して、生徒が多面的・多角的に考えられるようになっているところがよい。
委 員	・ 教育出版は、教材ごとに3つの問いが設定されていて、多面的・多角的に考えを深めることができるようになっている。
委 員	・ 日本教科書は、巻末のウェルビーイングカードを使い、自分の考えを、他者に伝えやすくする工夫がみられる。
議 長	・ その他の点ではいかがか。 どの教科用図書も「いじめ問題」など、今日的な課題が取り上げられているようだが、どうか。
委 員	・ あかつき教育図書は、「いじめ問題」について、学年を通じて重点的に学習できるように、ユニット化されている。

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | ・ 東京書籍は、「いじめ問題」を3つの教材で1セッションとして、読み物・イラスト・漫画などを使って、考えを深められるようになっているところがよい。 |
| 委 員 | ・ G a k k e n も、複数の教材を1つのセッションとして、「いじめ問題」を取り上げている。 |
| 委 員 | ・ 教育出版は、「いじめ問題」や「SDG s」について、複数の教材とコラムを組み合わせて取り扱っているところがよい。 |
| 議 長 | ・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍と教育出版を推す意見が多くあげられたのではないかと思うが、この2者に絞って協議をしたいと思うがいかがか。 |
| 委 員 | ・ 異議なし |
| 議 長 | ・ では、東京書籍と教育出版について、さらに意見をお願いします。 |
| 委 員 | ・ 教育出版巻末の「道徳科の学びを振り返ろう」では、1年間の学習を振り返ることができる工夫がみられ、また、「学びの道しるべ」の活用では、人間としての在り方について考え、深い学びにつながると考える。 |
| 委 員 | ・ 東京書籍のよさを感じる。読み物教材だけでなく、写真や挿絵などのビジュアルから考えるものや、漫画やグラフから考える教材が設定されていることなど、発達の段階に即して、深く考えることができる工夫が数多くみられる。 |
| 委 員 | ・ 確かに、東京書籍は他にもいろいろな工夫がある。例えば、巻末についている、心情円を活用することで個人の考えを可視化して、話し合い活動が円滑に展開できるよう工夫されている。 |
| 委 員 | ・ 加えて、東京書籍のソーシャルスキルコラムや体験的な学習のページを設けて道徳的価値に迫ったり、生徒の自 |

		己肯定感を高めたりする教材を配置する工夫もみられた。
	委 員	・ 教育出版もグラフや表など、わかりやすい視覚データを用いて生徒の考えを引き出す工夫がみられるが、その点では、東京書籍も写真や動画などの教材も優れている。
	議 長	・ 皆さんの意見をまとめると、東京書籍の教科書がよろしいかと思うが、いかがか。
	委 員	・ 異議なし
	議 長	・ では、特別の教科 道徳は東京書籍を選定する。
(5) 選定結果の確認	議 長	・ 今しがたの道徳の選定をもって、中学校のすべての種目の選定が終了した。 ここで、選定結果について改めて確認したいと思う。事務局より願います。
	事務局	・ では、選定結果を申し上げる。 国語は、「光村図書出版」 書写は、「光村図書出版」 社会（地理的分野）は、「東京書籍」 社会（歴史的分野）は、「東京書籍」 社会（公民的分野）は、「東京書籍」 地図は、「帝国書院」 数学は、「東京書籍」 理科は、「教育出版」 音楽（一般）は、「教育芸術社」 音楽（器楽合奏）は、「教育芸術社」 美術は、「日本文教出版」 保健体育は、「G a k k e n」 技術・家庭 （技術分野）は、「開隆堂出版」 技術・家庭 （家庭分野）は、「開隆堂出版」 英語は、「東京書籍」 道徳は、「東京書籍」
	議 長	・ 委員の皆様、よろしいか。

4 挨拶

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | ・ 異議なし。 |
| 議 長 | ・ 各市教育局において、中学校用教科書について、
本日の選定結果に基づき採択することになるのでよろしく
お願いしたい。 |
| 議 長 | ・ 以上で、すべての教科書の選定を終えたので、ここで議
長の任を解かせていただく。協力に感謝申し上げます。 |
| 事務局 | ・ 最後に採択協議会 副会長から挨拶をいただく。 |
| 副会長 | ・ 挨拶 |
| 司 会 | ・ 以上をもって第2回埼玉県第四採択地区教科用図書採択
協議会を閉会する。 |